



市内に甚大な被害をもたらした昭和47年7月の豪雨災害

D 47災害

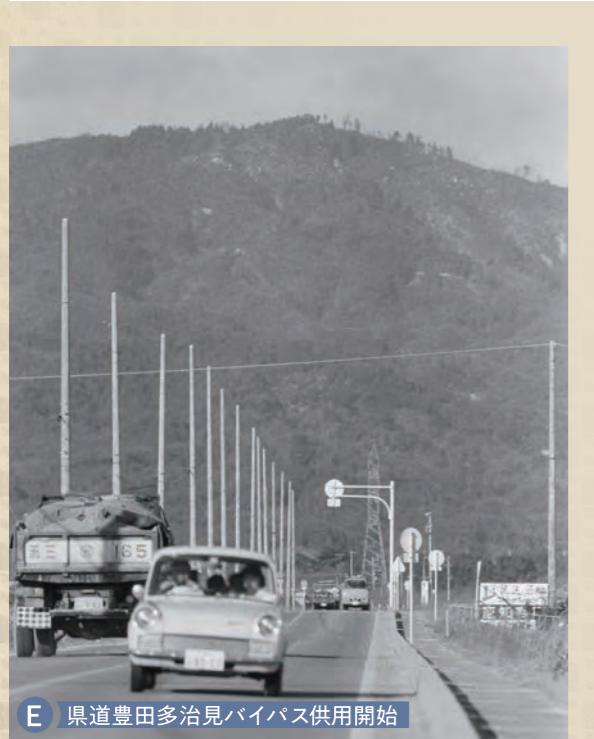
●家屋の真下まで削られた護岸(御船町)



△土砂崩れで寸断された道路(勘八町)

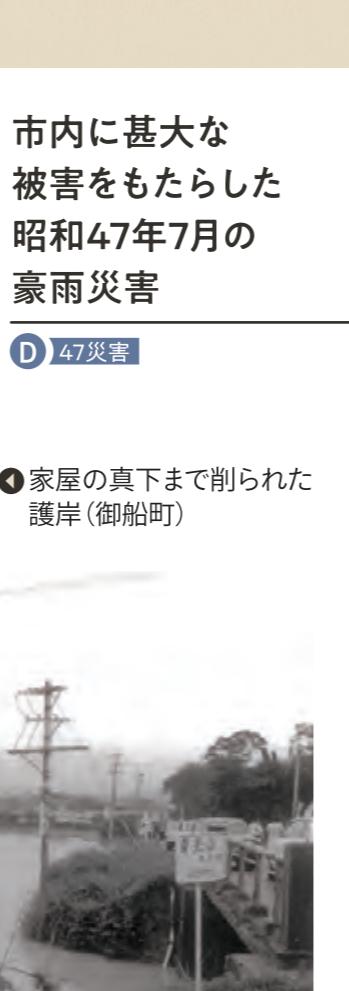


△国道153号の荒井橋付近では辺り一面が水没(荒井町)



E 県道豊田多治見バイパス供用開始

△亀首町から藤岡方向を撮影(現在の国道419号)。正面に見えるのは猿投山



B 消防署四郷出張所が開所

△現在の四郷町と茂田交差点の東側に開所



C 猿投グリーンロード開通式



C 猿投グリーンロードが開通

△開通式典後、枝下インターチェンジ付近を走行する車列



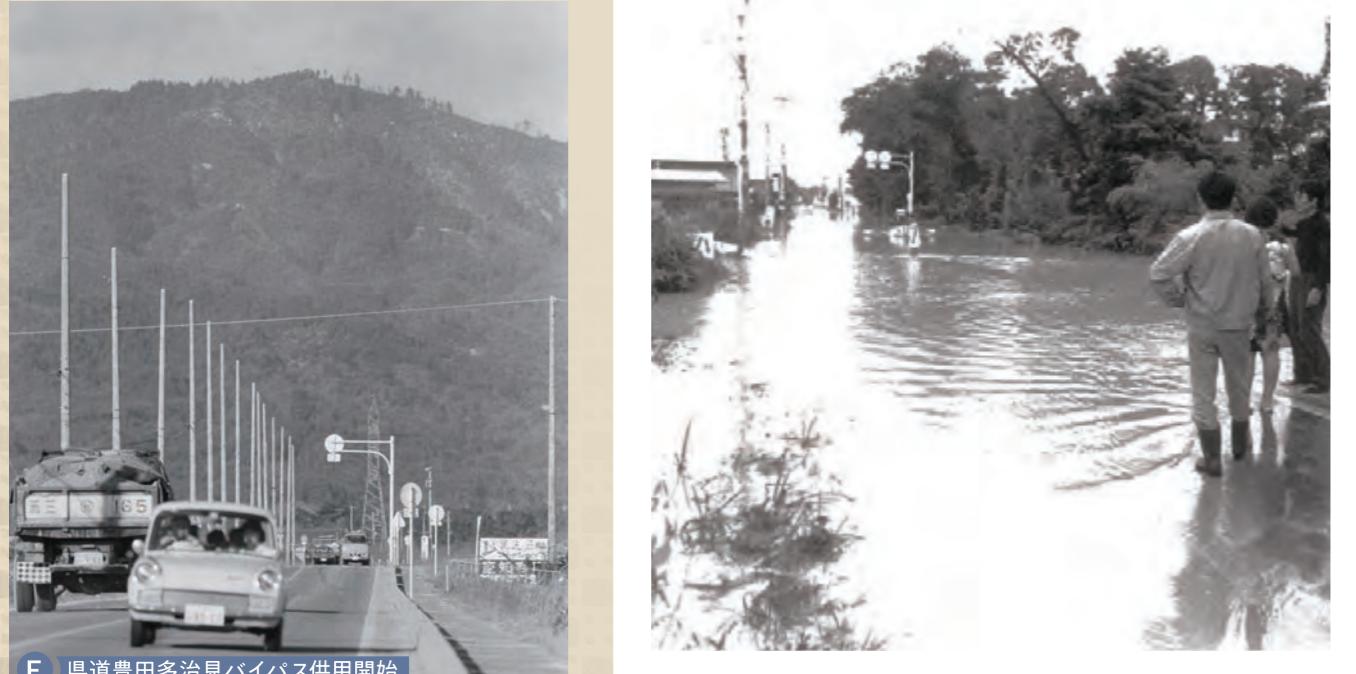
A 着工前の保見団地

△保見団地の建設現場を視察する関係者



A 建設中の保見団地

△団地の全ぼうが次第に見えてきた建設現場



△猿投地区50年の記録

昭和47年	1972	昭和48年	1973	昭和49年	1974	昭和50年	1975	昭和51年	1976
1月	保見団地が起工 A								
4月	消防署四郷出張所が開所 B								
5月	西山橋が完成、完成式(舞木町)								
7月	47豪雨災害(7月12日～13日) D								
11月	県道豊田多治見バイパス(現在の国道419号)供用開始 E								
4月	猿投グリーンロードが開通 C								
5月									
7月									
1月									

昭和47年～51年代

.....1972～1976年.....



E 保見橋が開通

▲ 保見橋の開通により、浄水と保見地域間の行き来が便利に



D 井上公園テニスコートが完成

▲ 市民待望のテニスコートが完成。
現在は猿投コミュニティセンターの駐車場に様変わり



F 名鉄豊田新線が開通、浄水駅と上豊田駅が開業

▲ 浄水駅ではたくさんの子どもたちが電車を出迎え



H 農家待望の勘八水管橋が開通

▲ 勘八峡のダム湖を眼下に見ながら、干ばつで農作物の生育不良に嘆いた開拓者にとって、待望のパイプラインが完成



G 保見出張所が新築移転

▲ 現在のJAあいち豊田保見支店の西側に開所



B 石野出張所が移転

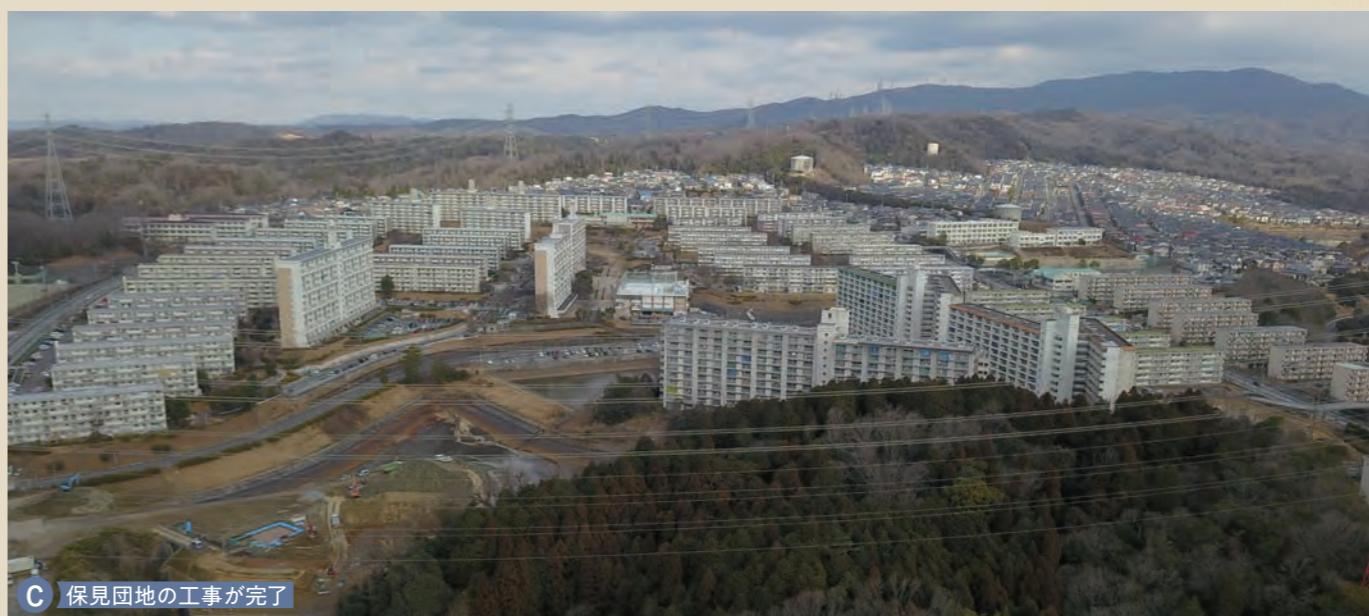
▲ 豊田市役所石野出張所が現在の場所へ移転し、鉄筋コンクリート造の建物に

昭和52年～56年代

.....1977～1981年.....



▲ 名誉市民に推举された浦野幸男氏(左)と本多静雄氏(右)



C 保見団地の工事が完了

▲ 近代的な高層住宅が立ち並ぶ保見団地

昭和56年 1981	昭和55年 1980	昭和54年 1979	昭和53年 1978	昭和52年 1977
7月 梅坪台中学校が開校(西山町) 4月 勤労者野外活動施設 (現在の平戸橋いこいの広場)が開所(平戸橋町) H	4月 東保見保育園(現在の東保見こども園)が開園(保見ヶ丘) 3月 保見出張所が新築移転(保見町清水尻) G	7月 名鉄豊田新線が開通し、 浄水駅と上豊田駅が開業 F	4月 中学校区を単位として地区コミュニティ会議が発足、猿投地区内には4つの会議が開催され、猿投台(保見)、保見(猿投)、石野(中金町塙本)、城見町須田口が開設(猿投台、保見、猿投、石野) E	3月 保見団地の工事が完了 C 6月 井上公園テニスコートが完成(四郷町) D 4月 浦野出張所が移転 B 3月 浄水小学校が開校(浄水町) A 6月 (力石町井上1-19-2→力石町深田57-2)



F 猿投コミュニティセンター全館竣工

●本館と体育館に続き、武道場も完成し、全館の竣工を記念して開かれた式典



E 石野運動広場が完成

●山あいの町に完成した広大な運動場で、石野地域すべての自治区が集まって開かれた運動会



►平成21年3月まで使われた保見公民館は、のちに、ものづくりサポートセンターに（同センターは平成28年9月に移転）



G 保見公民館が開館



I 名鉄が三河線の猿投～西中金駅間でレールバスの運行を開始

►乗降客数の減少による運行の合理化のため、猿投と西中金駅間8.6キロメートルが電車からディーゼルエンジンで走るレールバスに転換



►井郷地域2校目となる井上小学校には井上町と御船町の児童が通学



J 井上小学校が開校



C 保見中学校が新築移転

►急激な人口増加に対応できるよう、4階建ての校舎を新築



D 民芸館が開館

►開館のあいさつに立つ、豊田市花本町出身の本多静雄氏



A 猿投コミュニティセンター本館が開館

●豊田市役所猿投支所と猿投公民館（現在の井郷交流館）併設の施設が開館



B 消防署保見出張所が開所

►保見団地の完成に伴う人口増加に対応するため、新たな消防署を整備

昭和57年	昭和58年	昭和59年	昭和60年	昭和61年
1982	1983	1984	1985	1986
4月 猿投コミュニティセンター本館が開館（四郷町） A	4月 猿投コミュニティセンター本館が開館（四郷町） A	4月 猿投コミュニティセンター武道場が開館 B	4月 石野運動広場が完成（東広瀬町） E	4月 猿投コミュニティセンター武道場が開館 F
3月 保見中学校が新築移転（保見町北山75→保見町北山18） C	3月 梅坪台公民館（現在の梅坪台交流館）が開館 D	3月 名古屋大谷高校豊田大谷分校が開校（保見町） G	3月 井上小学校が開校（井上町） J	3月 下河原橋が開通（保見町） L
11月 猿投コミュニティセンター本館が開館 B	4月 猿投コミュニティセンター本館が開館（保見町） A	4月 猿投コミュニティセンター本館が開館（保見町） A	4月 猿投棒の手ふれあい広場が完成（猿投町） N	4月 猿投棒の手ふれあい広場が完成（猿投町） N
4月 猿投コミュニティセンター本館が開館（保見町北山75→保見町北山18） C	3月 井郷中学校が開校（井上町） M	3月 第2民芸館が開館（平戸橋町） K	4月 猿投棒の手ふれあい広場が完成（猿投町） N	4月 猿投棒の手ふれあい広場が完成（猿投町） N



C 愛知環状鉄道が開業(八草駅)

➡ JR岡多線に変わり第3セクター方式による新会社が開業し、小・中学生たちがホームで新しい電車を出迎え



C 愛知環状鉄道が開業(四郷駅)



A 森林会館が開館

➡ 林業関係者の研修、情報交換などの林業振興活動の場として開館



B 運動公園に陸上競技場が完成

➡ 約3,000人が観覧できるスタンドや、400メートル8レーンのトラックなどを備えた全天候型の施設

昭和62年～平成3年代

.....1987～1991年.....



L 下河原橋が開通

➡ 下河原橋を渡って通学する子どもたち



K 篠原工業団地(第I期)が完成



M 井郷中学校が開校

➡ 四郷小と井上小学校区の生徒は猿投台中を離れ、猿投地区5校目となる井郷中へ通学



M 井郷中学校が開校

➡ 開校・入学式で誓いの言葉を述べる生徒

地域の伝統を保存し、
後世に伝えるために

N 猿投棒の手ふれあい広場が完成



➡ 多目的に利用できるホールと、歴史民俗の伝承と資料保存の本格的資料館「棒の手会館」を併設



➡ 完成式で子どもたちが棒の手を披露



平成2年	平成1年	昭和63年	昭和62年
1990	1989	1988	1987
12月 猿投台地区コミュニティ会議が井郷と猿投台の各地区コミュニティ会議に分離	11月 猿投台公民館(現在の猿投台交流館)が開館	10月 第3民芸館が開館(高町) 猿投台公民館(現在の猿投台交流館)が開館	4月 民芸館の敷地内に井上家西洋館を移築
11月 (現在の井郷交流館)に名称変更	4月 運動公園に野球場が完成(高町)	4月 福祉村に光の家が開所	4月 猿投地区区長会から保見地区区長会が分離
4月 猿投台公民館が井郷公民館	4月 運動公園に野球場が完成(高町)	4月 福祉村に無門学園が開園	2月 猿投グリーンロードに西広瀬インター・エンジが完成(西広瀬町)
猿投台公民館(現在の猿投台交流館)が開館	4月 福祉村に光の家が開所	3月 東保見小学校が開校(保見ヶ丘) 福祉村に野球場が完成(高町)	1月 愛知環状鉄道(岡崎～高蔵寺)が開業
I	H	F	D
猿投台地区コミュニティ会議が井郷と猿投台の各地区コミュニティ会議に分離	猿投台公民館(現在の猿投台交流館)が開館	猿投地区区長会から保見地区区長会が分離	地区内に八草、篠原、保見、四郷の4駅を設置
		E	C



H 運動公園に野球場が完成



H

● 天然芝に夜間照明、電光式スコアボードなどの設備が整った野球場が完成



I 猿投台公民館が開館



I 猿投台公民館が開館

● 学習や交流、さまざまな活動の拠点として猿投台地域に開館



J 平成記念橋が完成

● 荒井町にアーチ型の橋がお目見えし、地元の人たちが渡り初め



F 西保見小学校が開校

● 保見団地から東保見小学校へ通う児童数の増加に伴い、西保見小学校を新設



D 西広瀬インターチェンジが完成

● 西広瀬工業団地に出入りする車の増加を見込み、猿投グリーンロードに新たなインターチェンジを整備



E 東保見小学校で分離式

● 「ずっと友だち」との願いを込め、東保見小学校から西保見小学校へ通うことになる子と一緒に風船を飛ばす児童たち



G 民芸館の敷地内に井上家西洋館を移築

● 明治10年代に名古屋市で開かれた博覧会の貴賓館として建造され、昭和初期に井上町の農場で迎賓館として使われていたものを民芸館へ移築

平成3年

1991

5月

平成記念橋が完成し、渡り初め、
市道高橋荒井線が同時に開通（荒井町）
猿投棒の手ふれあい広場に
運動広場が完成（猿投町）

4月

猿投地区区長会から井郷、石野、猿投台の
各地区区長会が分離
梅坪台地区区長会が分離

平成9年～13年代

.....1987～2001年.....

100年に一度の豪雨

A 東海豪雨

台風14号の影響を受けて活発化した秋雨前線により、9月11日夜半から12日未明にかけて矢作川上流域で100年に一度といわれる雨量を記録。富田町で橋が流失したり、花本町で堤防を越えた水が住宅地に流れ込んだりする被害が発生した。



● 藤沢町



● 富国橋



● 西広瀬町(犬伏橋)



● 荒井町



● 荒井町(平成記念橋)



B 花本産業団地が完成

● 広域交通網を生かした産業団地として、豊田市中心部より北約3.5キロメートルの平坦地に造成

平成12年	平成11年	平成9年
2000	1999	1997
9月 花本産業団地が完成(花本町) B	7月 名鉄三河線越戸駅の高架工事が完成(越戸町) 新築移転(力石町)	3月 石野公民館・石野出張所が
東海豪雨(9月11日～12日) 富国橋が流出(富田町・国附町) A		



A 四郷マレットゴルフ場が完成

平成4年～平成8年代

.....1992～1996年.....

● 連日、多くの人でにぎわっていたマレットゴルフ場は区画整理事業により、現在は高町の運動公園内に移転



B 乙部ヶ丘の街びらき、分譲開始

● 1,000区画を超える大規模な住宅団地が完成



C 南山国際高校・中学校が開校

平成5年	平成4年
1993	1992
4月 愛知みずほ大学 豊田キャンパスが開校(平戸橋町) B	2月 四郷マレットゴルフ場が完成(四郷町) A
3月 南山国際高校・中学校が開校(亀首町) C	1月 乙部ヶ丘の街びらき、分譲開始
4月 豊田大谷中学校が開校(保見町)	
9月 猿投北公民館(現在の猿投北交流館)が開館(加納町)	
12月 市道平戸橋水源3号線、 通称外環状線(平戸橋町～岩瀬町)が開通	
4月 伊保町自治区から向山自治区が分離	
9月 運動公園に球技場が完成(高町)	
4月 净水地区の土地区画整理事業が認可	
3月 南山国際高校・中学校が開校(大清水町)	
4月 豊田大谷中学校が開校(亀首町) C	
1月 消防署力石出張所が開所(力石町)	



G 農ライフ創生センターが開所



E 猿投グリーンロード4車線化工事完成



D 西広瀬小学校の水質調査



猿投～西中金駅間の廃線 F

▲電車からレールバスに切り替えて運行を続けてきたものの、ついに廃線



J 國際博覽会「愛・地球博」が開幕



H 東海環状自動車道の豊田東～美濃関インターチェンジ間が開通



I 愛知高速交通リニモが開業

▲「自然の叡智(えいち)」をメインテーマに120を超える国々が参加



B 猿投山トンネル貫通式

▲愛知県内では最長の全長4,410メートルのトンネルが貫通



C 北消防署が新築移転



▲署長以下、47人体制でスタート

平成18年 2006	平成17年 2005	平成16年 2004	平成15年 2003	平成14年 2002
4月 伊保原保育園が民間に移管され、いばらき保育園に名称変更	7月 各中学校校区に地域会議を設置	3月 愛知環状鉄道に貝津駅を新設(貝津町) 愛知高速交通(リニモ)が開業 万博八草駅(現在の八草駅)、陶磁資料館南駅を設置(八草町) I	4月 農ライフ創生センターが開所(四郷町) G さなげ足助バスの運行を開始	3月 猿投グリーンロード八草～中山インターチェンジ間の4車線化工事が完成 E 石野地区区長会がレールバスお別れ会を開催 F
	4月 運動公園にソフトボール場が完成(高町)	愛・地球博が開幕(3月25日～9月25日) J	3月 猿投グリーンロード八草～中山インターチェンジ間が廃線	11月 西広瀬小学校で水質調査連続1万日を達成 D
		青木幼稚園が民間移管	3月 名鉄三河線の猿投～西中金駅間が廃線	3月 運動公園に体育館、弓道場、アーチェリー場が開場(高町) C
			3月 石野地区区長会がレールバスお別れ会を開催 F	4月 猿投山トンネルで貫通式 B
			10月 西広瀬小学校で水質調査連続1万日を達成 D	4月 福井県が交流館に名称変更 A
			7月 西広瀬小学校で水質調査連続1万日を達成 D	7月 東海環状自動車道の井上高橋線が開通 B
			11月 西広瀬小学校で水質調査連続1万日を達成 D	3月 都市計画道路の井上高橋線が開通

平成14年～18年代

..... 2002～2006年



A 試験的に福祉バスの運行を開始

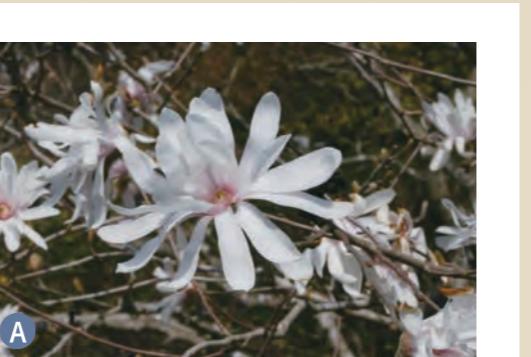
▲公共交通の空白地で試験的に3路線の運行を開始

平成24年～28年代

.....2012～2016年.....



● 東海丘陵湧水湿地群がラムサール条約湿地に登録
A 東海丘陵湧水湿地群がラムサール条約湿地に登録



● 上高湿地に自生するシデコブシ



● 名誉市民に推挙された浦野休興氏(左)と倉知俊彦氏(右)



● 高架橋の開通で西広瀬工業団地へのアクセスが大幅に向上升

平成28年	平成26年	平成25年	平成24年
2016	2014	2013	2012
4月 民芸の森が開所(平戸橋町)(F)	3月 愛知みずほ大学が豊田キャンパスを閉鎖(E)	3月 浦野休興氏を名誉市民に推挙(B)	7月 東海丘陵湧水湿地群(矢並、上高、恩真寺の各湿地)がラムサール条約湿地に登録(A)
4月 浄水地区にコミュニティ会議を設置	4月 浄水地区に浄水中学校が開校、浄水交流館が開館(大清水町)	4月 浄水北小学校が開校(大清水町)	11月 御船高架橋が開通(御船町)(D)

D 御船高架橋が開通

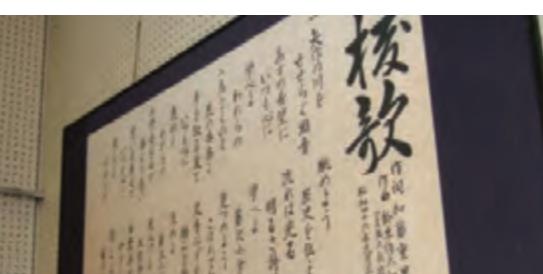
● 高架橋の開通で西広瀬工業団地へのアクセスが大幅に向上升



● 民芸を愛した本多静雄氏が矢作川を望む閑静なこの地を「民芸の森」と名付けて一般公開

平成19年～23年代

.....2007～2011年.....



思い出の校舎に別れを告げて

D 藤沢小学校が閉校

● 藤沢小学校の児童8人は東広瀬小へ転校。藤沢小の校舎や同じ日に閉園となった藤沢こども園の園舎は、大学生や高校生の学びの場として活用されることになった。



A 井上公園水泳場が完成
● 室内25mプールのほか、トレーニングルームやスタジオも備えた施設



B 保見交流館・保見出張所が新築移転
● 交流館と市役所の出張所を併設



C 新富国橋が開通
● 新しい橋は平成12年9月の東海豪雨で流出した橋の上流側に架け替え



E 広瀬駅前ひろばを開所
● 高齢者の生きがいづくりの場として産直市場を開設。冬を除く毎週土、日曜日に開催

平成22年	平成21年	平成20年	平成19年
2010	2009	2008	2007
6月 広瀬駅前ひろばを開所(東広瀬町)(E)	3月 新富国橋が開通(富田町・国附町)(C)	4月 加茂病院が浄水町に移転し、豊田厚生病院として開院	9月 井上公園水泳場が完成(井上町)(A)
5月 井上公園テニスコートを移設(四郷町→井上町)	3月 藤沢小学校が閉校、藤沢こども園が閉園(D)	4月 ものづくりサポートセンターが開館(保見町)	11月 保見地域バスの運行を開始

越戸発電所付近のつり橋

先代のつり橋が流出したため、昭和30年(1955年)に架け替えられたものの、昭和47年(1972年)の水害で再び流失。その後は架け替えられることもなく、今では橋脚の一部だけが残っている。

平成30年



昭和47年



今昔

広梅橋

渡し船しか矢作川を渡る手段のなかった東・西広瀬町の間に橋を架けようと、梅村源次郎氏が私財を投じ、昭和5年(1930年)に完成した広梅橋。平成になって新しく架け替えられた橋にはかつて、名鉄三河線の線路が横切っていた。

平成30年



今昔



平成30年

今昔



昭和62年

豊田市役所猿投支所

猿投町役場のころから使い続けてきた木造の庁舎に替わり、豊田市役所猿投支所と猿投公民館(現在の井川交流館)併設の猿投コミュニティセンターが昭和57年(1982年)に開館した。



昭和57年

猿投の今昔

市民の皆さんから猿投地区の昔の写真をご提供いただきました。

井上公園プール

夏休みになると、水遊びを楽しむ子どもたちが押し寄せた屋外プール。平成19年(2007年)には年間を通して利用できる、屋内式の温水プールが完成した。



平成19年



昭和62年



加納小学校

昭和56年(1981年)の新校舎の完成とともに取り壊された木造平屋建での校舎。昭和61年(1986年)には南校舎が完成し、現在の姿になった。



平成29年



昭和56年

今昔

旧飯田街道

浦野酒造(四郷町)隣の旧飯田街道は、人々が徒歩で行き来していた江戸時代と変わらぬ姿で現存する。

今昔



平成30年



昭和52年

富国橋

矢作川が大洪水に見舞われた平成12年(2000年)9月の東海豪雨により、富国橋は左岸側の橋脚を残して流失したが、仮復旧して通行を確保してきた。新しい橋は再び被害を受けないよう水面から路面を高くし、上流側に設置された。



平成23年

今昔



平成30年



平成22年

平成14年

井上町

お茶畠だったところにレンガの製造工場ができ、平成9年(1997年)まで稼働。その後、急速に宅地化が進んだ。(写真は井上町9丁目)



平成26年



昭和59年

今昔



平成30年



昭和62年

大井橋

交通量の増加に伴い、昭和46年(1971年)に架け替えられたものの、交差点改良工事により平成26年(2014年)に再び架け替えられた。



平成30年



昭和48年

四郷町の国道419号から猿投山方向を見た風景

県道豊田多治見バイパス(現在の国道419号)として昭和47年(1972年)に供用を開始。四郷町から猿投山方向を望む風景は変わりなくとも、通行量はかなり増加した。